

熱硬化性プラス摩擦材で 独自の活路を見出す

企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術



高度な技術を結集させた製品の数々

業務内容 熱硬化性樹脂部品と 摩擦材に特化

長尾工業所は、創業者である先代社長が新神戸電機(株)の自動車部品成形の依頼を受け、住宅地の一角に工場を構えて機械1台で起こしたプラスチックメーカーだ。

当時から変わらず事業の柱となっているのが、自動車のエンジン周り等、耐熱・強度が要求される「熱硬化性」樹脂部品の成形・加工だ。自動化が可能で大量生産に向く「熱可塑」と比べて「熱硬化性」は扱いが困難で、高度な技術が要求される分、競合の存在も少ない。そこに存在価値を見出し、長年「熱硬化性」に特化して技術とノウハウを築いてきた。さらに近年では「熱硬化性」の技術を使って、耐熱性・強度を備えた新素材の開発にも着手。カーエアコン用の摩擦材の製造・開発にも尽力し、シェアを拡大中だ。



熱硬化性用成形機等の設備

強み 創意工夫の精神で 顧客のニーズをかなえる

熱硬化性樹脂の成形・加工で培った技術を武器に、常に新しい技術・工法・素材の開拓にまい進してきた同社。その技術力をもってすれば、樹脂を混合することによって新たな特性を

持たせた樹脂が製造できる。

顧客から寄せられるさまざまなニーズに対しても、知恵と工夫を凝らすことで既存設備でも品質の高い部品をより安価に提供できることを証明してみせた。その一つが、現在の主力商品となっている摩擦材の製造・開発であり、同社の創意工夫の精神が発揮された好例だ。

研究開発 絶大なシェアを誇る カーエアコン用摩擦材

現在、同社にとって第2の柱となっている摩擦材だが、開発のきっかけとなったのがバブル崩壊後の業績不振だった。

苦境を打破すべく新技術の開発に注力した同社は、苦勞の末に、耐熱・耐摩耗・トルク性能・吸着音低減等の特性を有する摩擦材を生み出すことに成功。同社が提案したカーエアコン用クランチが大手摩擦材メーカーとの競合に勝利し、本田技研工業(株)が全世界に送り出す普通自動車全車種に搭載される運びとなった。

今後の展望 世界トップシェアを目指し 海外へも進出

現在、同社が製造するカーエアコン用摩擦材はホンダのみならず、欧州に本社を置く自動車部品メーカーへの納入も目前。これが実現すれば同社が世界のカーエアコン用摩擦材の10%以上を生産することになり、世界規模で高いシェアを占めることとなる。

今後とも熱硬化性樹脂の加工技術を磨きながら、世界シェアNo.1を目指していく考えだ。

COMPANY PROFILE

株式会社 長尾工業所

大阪 24 ISO 9001

当社の 歴史

当社は「熱硬化性」に特化し、他社の及ばない技術を磨き、ノウハウを積み重ねてきました。今や主力事業となった摩擦材への参入等、さまざまな転機を支えてくださった人・企業とのご縁に感謝しつつ、今後もたゆまぬ努力を続け、常に新しい技術開発にいそしみ、熱硬化性樹脂成形加工のリーディングカンパニーを目指します。

技術力を武器に、どんな仕事も創意工夫を凝らしてやりぬく姿勢を大切にします。

専務取締役 長尾 昌明さん



■主な事業内容

熱硬化性樹脂部品の加工、摩擦材の製造・開発等

■主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー、電気メーカー等

住 所 / 〒581-0816

八尾市佐堂町1-1-2

T E L / 072-998-4046

F A X / 072-996-0761

創 業 / 昭和38年9月

設 立 / 昭和49年6月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 20名

<http://www.kk-nagao.co.jp/>